MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2019/05/20 号(As of 2019/05/17)

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.88	1.1174	122.77	1.2795	0.6892
SYD-NY High	110.19	1.1184	122.99	1.2798	0.6897
SYD-NY Low	109.50	1.1155	122.28	1.2714	0.6865
NY 5:00 PM	110.06	1.1157	122.76	1.2714	0.6869

NY DOW	25,764.00	▲ 98.68	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,816.29	▲ 81.76	日本10年債	-0.0600	0.00bp
S&P	2,859.53	▲ 16.79	米国2年債	2.1992	0.59bp
日経平均	21,250.09	187.11	米国5年債	2.1754	0.49bp
TOPIX	1,554.25	16.70	米国10年債	2.3918	▲0.17bp
ｼｶｺﾞ日経先物	21,235	▲ 30	独10年債	-0.1045	▲0.95bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,348.62	▲ 4.89	英10年債	1.0330	▲3.90bp
DAX	12,238.94	▲ 71.43	豪10年債	1.6515	▲0.90bp
ハンセン指数	27,946.46	▲ 328.61	USDJPY 1M Vol	6.00	0.15%
上海総合	2,882.30	▲ 73.41	USDJPY 3M Vol	6.53	0.04%
NY金	1,275.70	▲ 10.50	USDJPY 6M Vol	6.78	0.06%
WTI	62.76	▲ 0.11	USDJPY 1M 25RR	-1.55	Yen Call Over
CRB指数	180.99	▲ 1.34	EURJPY 3M Vol	7.05	0.09%
ドルインデックス	98.00	0.14	EURJPY 6M Vol	7.31	0.05%

【昨日の指標等】

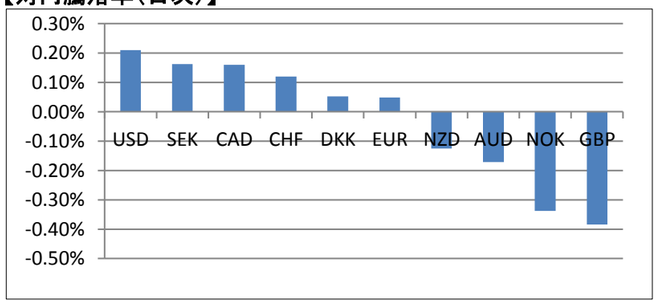
Date	Time		Event		結果	予想
5月17日	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)	4月	0.7%/1.7%	0.7%/1.7%
	21:30	欧	CPIコア(前年比)	4月	1.3%	1.2%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド	5月	102.4	97.2

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
5月20日	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	3月	-/-	-0.9%/-4.6%
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	4月	-0.2	-0.15

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-110.40	1.1100-1.1200	122.50-123.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は109.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日の米株式市場の上昇を受けて、日経平均株価が高く寄り付いた後も底堅く推移すると、ﾄﾞﾙ円は一時110.03をつけた。その後は中国国営ﾒﾃﾞｨｱが米国に対する批判的な見解を報じたことで、ﾄﾞﾙ円は109.55まで下落し、109.56ﾚﾍﾞﾙで海外市場に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、109.56ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。新規材料に欠けるなか、狭いﾚﾝｼﾞで推移。結局、ﾚﾍﾞﾙ感はほぼ変わらずの109.55でNYへ渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2786ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。野党労働党はﾌﾞﾚｸﾞｼﾞｯﾄの与野党協議を打ち切ることを決定。6月初に4度目のﾌﾞﾚｸﾞｼﾞｯﾄ決議が行われるが、否決され、同時にﾒｲ氏から進退計画の発表が予想されている。それら懸念材料から欧州時間のﾎﾟﾝﾄﾞは本日も一本調子で下落。1月以来の安値1.2737を付けた。安値圏のまま、1.2740ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。
ニューヨーク	ﾆｭｰﾖｰｸ市場のﾄﾞﾙ円は、109.55ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、109.50まで下落するものの、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領の「対日欧自動車関税の発動を180日延期」との発言が伝わり、その後も米4月先行指数が予想と一致する一方、ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数が大幅に予想を上回り、続いて「米国がｶﾅﾀﾞ、ﾒｷｼｺに対する鉄鋼、ｱﾙﾐの関税撤廃を準備している」とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝを受け、110.00まで戻す。一旦109.85まで下押しするが、午後に入りCAD/JPYが上昇する中、ﾄﾞﾙ円は海外市場でつけた高値110.03を抜けると、ｽﾄｯﾌﾟを巻き込み110.19まで上昇する。終盤に掛けては、一旦ﾌﾟﾗｽ圏に切り返した株式市場が反落する展開に、109.94まで下落し、110.06ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、米中通商協議に対する懸念や、ﾌﾞﾚｸﾞｼﾞｯﾄを巡りﾒｲ首相の与党である保守党と協議していた野党の労働党との協議が打ち切りになったことから、ﾎﾟﾝﾄﾞ、ﾕｰﾛが売られる動きに、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1168ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米国の欧州に対する自動車関税の発動が延期されたことから1.1179まで戻す局面もあったものの、ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数結果などを受けﾄﾞﾙ買いが強まったことから1.1155まで反落する。午後はやや戻す局面もあったものの、終盤に掛けてﾄﾞﾙ買いが優勢となり、1.1155まで再び反落し、1.1157ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間のドル円相場は上昇する展開となった。ドル円はロンドン時間においては109円台半ばでの方向感に欠けるもみ合い推移が続いたが、NY時間に入りトランプ大統領が「対日本とEUの自動車関税措置を少なくとも180日延期」することを正式に発表したことや米5月ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を大きく上回ったこと、更には「米国がカナダ、メキシコに対する鉄鋼、アルミの関税撤廃を準備している」と報じられたこと等からドル円は109円台半ばから一時110.19まで上昇する展開となった。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想する。先週金曜日は対日本、EUに対する自動車関税措置延期の報道はあったものの、米中の通商問題については中国側が米国に対する批判的なコメントを出した上、次の協議予定についても流動的になっていると報じられ早期解決が望める状況では無さそう。追加の悪材料が出なければ大幅下落こそ想定はしづらいものの、米中通商問題の長期化に対する警戒感も残る中、110円台では相応の売り意欲も見られると考えている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:森谷・原田

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに